



令和2年度 事業報告書

目次

【総括】	・・・	1
【事業報告】		
(1) 地域福祉活動の周知・啓発	・・・	3
(2) 地域福祉力の向上	・・・	6
(3) ボランティア活動の充実と住民参加の仕組みづくり	・・・	19
(4) 住み慣れた地域で安心して暮らせる体制づくり	・・・	25
(5) 個別援助活動の充実と市社協の基盤づくり	・・・	30

1. 総括

令和2年度は、4月6日に新型コロナウイルス感染症拡大防止の緊急事態宣言が7都道府県に出され、4月16日には全国に拡大となり、4月、5月の2か月間、外出の自粛や休業等、小中学校の臨時休校、公共施設は休館・利用停止となり、事業の延期・中止が相次ぎ、事業活動を大幅に見直す必要が生じました。

また、緊急事態宣言解除後、いったん動き出した地域福祉活動も、新型コロナウイルス感染症の第2波(8月)、第3波(年末年始)の影響を受け、また停滞してしまいました。

一方、3月25日から、新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少でお困りの世帯に、生活福祉資金特例貸付の業務が開始され、収束の見えない新型コロナウイルス感染症の生活への影響は大きく、貸付受付期間の3度の延長、再貸付の導入など、令和3年6月末まで貸付業務を継続しています。

このような中、市社協は、未知の病という共同の困難に、市民が互いに助け合い、共同の責任として立ち向かう地域コミュニティを再創造することが必要と考え、コロナ禍でも、地域住民や地域まちづくり協議会や学区社会福祉協議会、民生委員・児童委員をはじめ地域の多様な関係者との連携を強化し、「今できること」を掲げ、新型コロナに負けない、地域福祉活動の火を消さない、たとえ小さな活動でも、やがて大きな炎になる支援を進め、「地域共生社会」を形成する活動を進めました。

1. 住民が主体となって進める地域福祉活動推進の支援

- ・高齢者等を地域で支える仕組みづくりを考える「学区医療福祉を考える会議」を含め、14学区に884回地域に出向き、住民の皆様とともに地域の課題を共有し、住民のよきパートナーとして、今できることへの取り組みを支援しました。

2. ボランティアセンターの機能強化

- ・158の地域サロン活動の火を消さないため、活動助成金を今年度に限り年間開催回数を5区分に分け助成しました。また、感染予防対策物品(消毒液など)を活動応援「まごころ便」として、お届けしました。

- ・「サロンでできるマスクケースづくり」講習会を行い、活動を絶やさない支援を行いました。

- ・第3回福祉教養大学を開催し、担い手の育成に努めました。また、大学院生の実践の場として、第9回ボランティアフェスティバル「あなたのための音楽祭」を開催していただきました。

3. 身近な居場所づくりの推進

- ・コロナ禍で頑張る児童育成クラブや福祉施設等に、春夏秋冬の4回のフードドライブを中心に、個人や企業の皆様の善意でいただいた、米1219.64kg、野菜、干物等2600品目を5回の応援「まごころ便」などを通じて、多くの方に善意を届けさせていただきました。

4. 生活福祉資金特例貸付業務

- ・1年を超える貸付受付期間中、緊急小口資金、生活支援資金の貸付を利用者の立場に立ち、また関係機関と連携しながら、スピードのある取り組み事務を進めました。

総取扱件数 約2,800件 10億5,725万円



あなたのための音楽祭 (2020.10.14)

2. 事業報告

(1) 地域福祉活動の周知・啓発

見える社協、魅せる社協活動をめざして広報し、住民への啓発を行い、地域の福祉力アップを図ります。

● 広報紙「社協くさつ」発行事業

2,096,242 円

市社協広報紙「社協くさつ」を年4回発行し、市社協事業や住民の福祉活動の啓発に努めました。

- 令和2年7月1日号（No. 165） …草津市福祉教養大学、くさつ通信、令和2年度事業計画予算、令和元年度決算、フードバンク事業、寄附付き名刺、心配ごと相談所、もしもし電話ご案内、はいボランティアセンターです！等
【発行部数 58,550部】
- 令和2年9月15日号（No. 166） …まごころ便、地域のふれあいの場づくり助成事業、はいボランティアセンターです！、フードバンク事業、くさつ通信、草津市福祉教養大学 大学院レポート、賛助会員の紹介、賛助会員応援ステッカー紹介、生活支援員募集、もしもし電話ご案内、心配ごと相談所等
- 令和2年11月1日号（No. 167） …南笠東学区地域支え合い送迎、地域で行われている居場所づくり取材、第3弾まごころ便、民生委員・児童委員って？、草津市福祉教養大学、はいボランティアセンターです！、災害ボランティアセンター運営訓練のお知らせ、くさつ通信、フードバンク事業、歳末たすけあい見舞金について、共同募金、もしもし電話ご案内、心配ごと相談所等
- 令和3年3月15日号（No. 168） …ふくちゃんマスクプロジェクト、はいボランティアセンターです！、賛助会員の紹介、フードバンク事業、社会福祉功労者表彰、草津市福祉教養大学、くさつ通信、義援金・共同募金実績、草津市赤十字奉仕団員募集、共同募金ありがとうメッセージ、移転のお知らせ等

● ホームページ運営事業

324,500 円

ホームページの更新やトピックス枠にて、フードバンクや寄附金等の最新情報を発信し、募集啓発と実績の報告に努めました。

○令和2年4月1日から令和3年3月31日までのホームページ閲覧状況

アクセス総数…64,062件

●社会福祉功労者表彰式典

193,082 円

長年活躍している地域福祉活動者やボランティアに対してその功績を称え表彰し、活動を応援するとともに、社会福祉の向上のため寄附された個人や団体に感謝の意を表しました。

また「滋賀県共同募金会会長顕彰」として、長年にわたり共同募金運動の推進に尽力され、本県民間社会福祉事業の発展に大きく貢献された個人や団体の表彰と、赤い羽根共同募金運動に多額のご寄附をされた法人に感謝の意を表しました。

開催日：令和2年11月28日（土）

場 所：草津市役所 8階大会議室

【社会福祉功労者表彰】

	内 容	被表彰者
表彰状	民生委員・児童委員として9年以上地域福祉活動の推進に寄与された方々	1人
	長年にわたり社会福祉協議会、社会福祉施設および民間社会福祉事業関係団体等の役員として地域福祉活動の推進に尽力された方々	2人
	長年にわたり率先して活動を行い、社会福祉活動の推進に寄与した者	17人
	長年にわたり社会福祉活動の推進に寄与した団体	14団体
	福祉活動推進校として授業および活動等に尽力された学校	2校
	長年にわたり社会福祉の向上のため多額の寄附をいただいた団体	1団体
感謝状	社会福祉の向上のため寄附をいただいた方々	6人
	社会福祉の向上のため寄附をいただいた団体	21団体

【滋賀県共同募金会会長顕彰】

	内 容	被表彰者
表彰状	長年にわたり共同募金運動の推進に尽力され本県民間社会福祉事業の発展に大きく貢献された団体	1団体
感謝状	赤い羽根共同募金運動の趣旨に賛同して多額の寄附をされ本県民間社会福祉事業の発展に大きく貢献された団体	1団体
	赤い羽根共同募金運動の趣旨に賛同して毎年寄附をされ本県民間社会福祉事業の発展に大きく貢献された法人	1団体

●近所力アップ講座（出前講座）

1,200 円

地域に職員が出向き、より身近な福祉の専門職として、住民同士のつながりや地域福祉活動の大切さを伝えました。

合計参加者：約48人

No.	学区	開催日	内容	依頼団体	参加者
1	玉川	令和2年11月7日（土）	民生委員・児童委員活動と草津市社協の関わりや連携について	玉川学区民生委員児童委員協議会	18人
2	—	令和3年2月16日（火）	草津市社協のコロナ禍での取り組みについて	草津市更生保護女性会	約30人

● 「ふくちゃん」 啓発

15,000 円

ボランティアフェスティバルをはじめ、イベントにふくちゃんを派遣し、草津市内の地域福祉活動について啓発を行いました。また、ふくちゃんの啓発をはじめ市社協のPRとともに、ボランティア活動の活性化や、新たなボランティアを発掘し、身近に感じられるボランティアとして、ふくちゃんマスクプロジェクトを企画し、12月より実施しました（詳細はふくちゃんマスクプロジェクトを参照）。

No.	開催日	内容	依頼団体
1	令和2年 10月10日（土）	南笠東学区地域支えあい運送支援事業協定書調印式	—
2	令和2年 11月14日（土）	第9回ボランティアフェスティバル ～あなたのための音楽祭～	—
3	令和2年 12月1日（火）	クリスマス会	志津地区民生委員児童委員協議会
4	令和2年 12月21日（月）	クリスマス会	志津社会福祉協議会

● 「広報くさつ」 点字版作成・配付事業

285,000 円

視覚障害があり、広報「くさつ」点字版の配付を希望される方に、毎月1日号を基本に点訳し、郵送しました。点訳は草津点字グループ「あゆみ会」にお願いしました。

配付対象	配付先人数等	配付数
視覚障害者	3人	48部
障害者福祉センター	1カ所	12部

● 社会を明るくする運動

39,000 円

法務省の主唱により、すべての国民が犯罪防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築く目的で各関係機関・各団体が運動に関する啓発と作文コンテストを実施しました。

協力団体：草津市、草津保護区草津支部保護司会、草津市青少年育成市民会議、草津市更生保護女性会、草津市BBS会、草津警察署生活安全課、草津市青少年補導委員会、草津市教育委員会、草津市学区・区社会福祉協議会会長会

○街頭啓発

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止としました。

○作文コンテスト

応募校：1校（玉川中学校）

応募作品数：53点



(2) 地域福祉力の向上

地域福祉力の向上と住民主体の地域福祉活動の発展のため、その基礎となる人づくり、またその人を支援する体制をつくりまします。

●第3回草津市福祉教養大学

649,612円

地域の担い手不足と言われている現状を打破し、地域福祉活動者のすそ野を広げることを目的に、これまでの講座内容をリニューアルした「福祉教養大学」を実施しました。今年度はコロナ禍のため、定員を昨年度の半数の50人とし、「心を揺らしてみませんか」をテーマに、幅広い分野の講師に講演いただき、今まで福祉に興味がなかった方にも多くご参加いただきました。また、5講座全てを受講された方々には、卒業証書を授与し、今後の活動の励みにしていただきました。

さらに、前年度の5講座すべてを受講された方がさらに活動を実践していく場として、大学院を昨年引き続き開校しました。今年度は自分たちにできる活動の第1歩として「ボランティアグループふくちゃん」を立ち上げ、草津市社協よりコロナ禍でできる実践活動の課題として、「あなたのための音楽祭（第9回ボランティアフェスティバル）」と「地域サロン交流会への協力等」を提案し、取り組みを進めました。

【第3回草津市福祉教養大学 基礎課程】

延べ参加者：152人

	開催日	内容・講師	参加者
入学式 第1講座	令和2年 8月21日(金)	写真が語るいのちのバトンリレー ・講師：写真家・ジャーナリスト 國森康弘さん	24人
第2講座	令和2年 9月17日(木)	老いを支える医師からみた人生観 ・講師 おぐまファミリークリニック院長 小熊哲也さん ・コーディネーター 草津市老人クラブ連合会事務局 小枝美代子さん	23人
第3講座	令和2年 10月15日(木)	専門職と地域のくらし~知っているだろうか私たちの思い~ ・コーディネーター 龍谷大学社会学部現代福祉学科教授 筒井のり子さん ・パネリスト 草津ゆうひ法律事務所弁護士 浅井勇希さん 玉川地域包括支援センター所長 嶋村謙太さん 草津学区社会福祉協議会会長 中村陽子さん	37人
第4講座	令和2年 11月5日(木)	一部「地域共生社会の実現に向けた思い」 ・講師：厚生労働省社会・援護局地域福祉課 石井義恭さん 厚生労働省社会・援護局地域福祉課 与那嶺一貴さん 二部「健幸に生き抜く力」 ・講師：浜本内科医院院長 浜本徹さん	24人
第5講座	令和3年 2月12日(金)	地域と共に生きる~私たちの活動を知ってください~ ・コーディネーター 草津市社会福祉協議会常務理事 奥村嘉英 ・パネリスト 志津南学区社会福祉協議会会長 上田恒章さん 西方寺副住職・介護福祉士 牧哲玄さん 地域サロン活動者・民生委員児童委員 出呂町馨さん	18人
卒業式・ 大学院実践発表会	令和3年 3月12日(金)	卒業式 ・大学、大学院卒業証書授与、卒業生と講師代表あいさつ 大学院実践発表会 ・1年間の実践のあゆみ動画、大学院生より一言発表	26人

*第3回草津市福祉教養大学卒業生 12人

【第2回草津市福祉教養大学 大学院】

実践活動

○あなたのため音楽祭

音楽祭を開催する目的：

- ① 新型コロナウイルス感染症拡大防止のためコンサート等の制限がかかり、市民は行き場所がなく、不安や孤独・孤立を感じている人もおられ、少しでも笑顔になれる機会・外出する機会をつくりたい。
- ② 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、音楽ボランティアグループの発表の場がなくなり、活躍の場を提供することにより、ボランティアの活性を図るために実施したい。

日 時：令和2年11月14日（土） 午前の部⇒10：00～11：30
 午後の部⇒13：30～15：00

場 所：草津市立草津アミカホール

出 演：音楽ボランティアグループ6グループ（45人）

参加者：事前申し込み制 午前の部⇒参加者16組26人
 午後の部⇒参加者5組12人

○市社協主催地域サロン交流会への協力

日 時：令和2年10月14日（水）13：30～15：00

場 所：草津市社会福祉協議会

内 容：クリアファイルでマスクケース作り講座の講師

※地域サロン交流会に参加できなかった地域サロンからの依頼で、マスクケース作りの出前講座を行いました。今後も、地域サロンからの依頼があれば、ボランティアとしてこの活動を継続していく予定です。

- 11/11 矢倉学区の地域サロン「げんぼなかま」で出前講座
 11/25 笠縫東学区の地域サロン「ぼちぼちの会駒井沢」で出前講座
 12/3 笠縫東学区の地域サロン「平井よごむ会」で出前講座
 2/3、3/3 ボランティアグループ「たすけ愛隊ママの手」で出前講座

	開催日	内容	参加者
Practice 1	令和2年 7月9日（木）	オリエンテーション ・草津市社協と大学院について学ぼう ・事務局から実践活動課題提供、グループ分けをして企画を進めよう	9人
Practice 1-A	令和2年 7月20日（月）	【グループ別検討】 ・実践活動「あなたのための音楽祭」について考えよう ・当日の開催場所や参加者等の検討をしよう	5人
Practice 1-B	令和2年 7月22日（水）	【グループ別検討】 ・実践活動「あなたのための音楽祭」について考えよう ・当日のプログラム、音楽ボランティアグループを決めよう	4人
Practice 2	令和2年 8月7日（金）	グループ別で進めてきた企画を共有しよう	8人
Practice 2-A	令和2年 8月7日（金）	【グループ別検討】 ・実践活動「あなたのための音楽祭」について考えよう	5人
	令和2年 8月17日（月）		

Practice 2-B	令和2年 8月7日(金)	【グループ別検討】 ・実践活動「あなたのための音楽祭」について考えよう	4人
	令和2年 8月26日(水)		
Practice 3	令和2年 9月9日(水)	・実践活動「あなたのための音楽祭」の企画内容と役割を考えよう ・当日配布資料を作成しよう	8人
Practice 4	令和2年 10月7日(水)		9人
Practice 4(2)	令和2年 10月14日(水)	【実践活動】市社協主催地域サロン交流会 ・クリアファイルを活用したマスクケース作り体験への協力	7人
Practice 4(3)	令和2年 10月21日(水)	・実践活動「あなたのための音楽祭」の再確認をしよう	9人
Practice 4(4)	令和2年 11月4日(水)		9人
Practice 4(5)	令和2年 11月14日(土)	【実践活動】「あなたのための音楽祭」	9人
Practice 5	令和2年 12月9日(水)	・実践活動「あなたのための音楽祭」の振り返りをしよう	8人
Practice 5(2)	令和3年 1月8日(金)	・実践発表会について考えよう ・今後の進路について考えよう	8人
Practice 5(3)	令和3年 2月19日(金)		5人

*第3回草津市福祉教養大学大学院卒業生 6人

*ボランティアグループ「ふくちゃん」結成 7人

●福祉委員設置促進

1,000円

「福祉委員の手引き」をもとに学区社協との協働により学習会を開催し、福祉委員活動が効果的に行われるよう支援しました。また、福祉委員活動をより円滑に進められるよう、希望される学区に市社協会長と学区社協会長の連名で委嘱状を交付しました。

【研修支援】

合計参加者：38人

No.	学区	開催日	内容	依頼団体	参加者
1	草津	令和2年 11月9日(火)	福祉委員活動について	草津学区社会福祉協議会	16人
2	草津	令和2年 11月16日(火)	福祉委員活動について	草津学区社会福祉協議会	22人

市内合計469人のうち、委嘱状交付学区は4学区・合計155人。

・志津学区 13人 ・草津学区 55人 ・老上西学区 31人 ・笠縫学区 56人

●介護予防サポーターポイント制度

2,838,660円

高齢者の社会参加、いきがづくり活動を促進し、介護予防の普及啓発を図るとともに、介護予防サポーター自身の介護予防を図る目的で、草津市が平成28年度から実施している事業を受託し、市と協働して実施しました。

・介護予防サポーター登録者数：57人

・介護予防サポーター付与ポイント総数：1,821ポイント

(令和2年1月1日～12月31日までの活動を対象)

●地域サロン活動支援

9,416,391円

地域サロン活動を通して、高齢者の見守り活動を推進し、身近な場所で支え合う関係づくりを目的として、高齢者の介護予防と自立を促進するためにサロン活動の拡充に努めました。

- ・新たに設置された地域サロン 5団体
- ・解散した地域サロン 3団体
- ・運営相談並びに情報提供 178件
- ・地域サロン訪問 5件
- ・地域サロンとボランティアの需給調整 7件

【年度別サロン数】

令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
158サロン	155サロン	157サロン	156サロン

【地域サロン参加者・活動者状況】

	令和2年度	令和元年度
年間参加者延べ人数	50,635人	75,839人
年間運営ボランティア数	14,023人	20,774人

【学区別地域サロン開催状況】

学区・区	開催数(団体)					運営 ボランティア数 (人)	参加者 (延べ人数) (人)
	0～4	5～9	10～14	15～19	20以上		
志津	0	0	0	4	11	1,668	6,124
志津南	0	1	1	2	6	1,522	6,734
草津	0	0	0	1	9	1,033	4,450
矢倉	1	0	2	1	6	1,107	4,177
大路	1	1	0	2	6	457	2,726
渋川	0	2	0	0	10	1,157	3,076
老上	2	0	1	0	4	528	2,438
老上西	1	0	0	0	6	378	2,332
玉川	0	1	0	1	9	1,110	3,612
南笠東	1	1	0	0	4	337	929
山田	0	0	3	1	14	1,374	4,835
笠縫	2	1	2	0	12	1,523	5,624
笠縫東	0	1	2	4	2	796	1,222
常盤	2	0	4	3	7	1,033	2,356
計						14,023	50,635

●地域サロン活動備品貸出

地域サロンの活動内容の充実や、地域サロンの啓発を目的としてサロン活動備品の貸出をしました。

地域サロン貸出備品	貸出数
回想かるた	3件
唱歌カルタ	3件
四字熟語合わせ	1件
麻雀セット	6件
ミュージックベル	9件
介護予防貸出備品	貸出数
大型バランスゲーム	1件
低床型玉入れ（1色1台）	1件
シャッフル&ゴルフセット	1件
足踏みマット	1件
ニューカラーボーリング	2件
超飛びジャンボ黒ひげ危機一発	3件
社協文庫	貸出数
里みちこさん詩集	2件

●地域サロン交流会

56,246円

今年で12年目を迎える地域サロン交流会では、これからも続く「マスク着用社会」のなかで、「マスクを持ち運ぶケース」「食事などをする際に保管するケース」などの作り方を学び、地域サロンの活動メニューとして活用していただき、高齢者の新しい生活習慣となりえる交流会として定員50人で実施しました。

開催日：令和2年10月14日（水）13：30～15：00

場 所：草津市社会福祉協議会

内 容：「クリアファイルでマスクケースを作ろう」

～サロンで作るマスクケースの作り方～

講 師：ボランティアグループふくちゃん7人

参加サロン：29サロン 49人（男性：3人 女性：46人）

●素敵なまごころ便

重点

269,754円

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため地域サロン支援事業、とく・得バスツアーが中止せざるを得なくなり、高齢者の外出の場が失われ、孤立化も懸念されました。

そこで市社協は、地域サロン参加者の方々に「心豊かに暮らしにゆとりを届けたい」と「地域サロンと参加者のつながりづくり」という思いから、「素敵なまごころ便」を実施しました。

○第一弾まごころ便

まごころ便では、①詩人 里みちこさんの詩

②特定非営利活動法人アイ・コラボレーションとのつながりポストカード

③市社協応援メッセージ（地域サロン代表者一言メッセージ）

④福祉パズル&市長寿いきがい課 元気であるためのポイントチラシ

⑤収集ボランティアのチラシ をお届けしました。

いろいろな方々とのつながりでサロンの参加者に笑顔になっていただきました。

62サロン、1,883人の参加者に届けていただきました

学区	配付数 /全体数	配布数	学区	配付数 /全体数	配布数	学区	配付数 /全体数	配布数
志津	8/15	184	矢倉	4/10	99	山田	17/17	400
志津南	2/9	30	老上	3/7	90	笠縫	4/17	186
草津	1/10 学区配食	35 200	老上西	2/7	90	笠縫東	4/9	134
渋川	5/12	152	南笠東	4/6	126	常盤	3/16	65
大路	2/10	8	玉川	3/10	49	合計	62/155	1,883

○第二弾まごころ便

三密を避け、地域福祉活動を再開される活動者の皆さまの前向きな気持ちの後押しができればと考え、地域福祉活動に参加していただく方々に、安心と安全のまごころを届ける地域福祉活動応援「まごころ便」を賛同していただいた企業からの寄附で配布しました。

地域サロン（155サロン）への配布物

- ① 市社協会長メッセージ
- ② 熱中症×新しい生活様式チラシ
- ② 市社協作成脳トレ「福祉パズルでGO」
- ④ 飲料8本（コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社）
- ⑤ 次亜塩素酸液（有限会社管財技研）
- ⑥ アルコール除菌シート（株式会社阪急オアシス）
- ⑦ 大人用マスク（市役所）

子ども食堂（8団体）への配布物

- ① 市社協会長メッセージ
- ② 熱中症×新しい生活様式チラシ
- ② 次亜塩素酸液（有限会社管財技研）
- ④ アルコール除菌シート（株式会社阪急オアシス）
- ⑤ 小マスク

○第三弾まごころ便

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、三密を避けながら、苦悩の中で利用者のために頑張っておられた福祉関係施設・事業所、児童育成クラブを応援できればと考え、草津市社会福祉協議会地域福祉活動計画の理念である「こころ温かく 支えあい 住み続けたい 福祉のまち・くさつ」の実現の一步として、第三弾「まごころ便」を配布しました。

74団体に案内を出し、申し込みのあった福祉関係施設20か所、児童育成クラブ14か所にお届けしました。

施設・事業所には、少しでも安心をお届けできればと市社協会長メッセージ、次亜塩素酸液、入浴剤をお届けし、児童育成クラブには、市社協会長メッセージ、次亜塩素酸、おりがみ（普通）、おりがみ（大判）、画用紙と子ども達が楽しめるものをお届けしました。

○第四弾まごころ便

第二弾同様、三密を避け、地域福祉活動を展開される14学区・区社会福祉協議会の活動者の皆さまの前向きな気持ちの後押しができればと考え、消毒液や飲料をお届けする学区社協応援「まごころ便」を実施しました。

○第五弾コロナに負けない「炊き込みご飯でまごころ便」

草津市赤十字奉仕団と草津市社会福祉協議会がコラボして、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から活動が困難な状況にある高齢者サロンに参加される皆さまに笑顔になっていただきたいという気持ちから、「炊き込みご飯」を作ってお渡しし、喜んでいただきました。

炊き込みご飯配布日	10月12日(月)	18サロン	345個	
	10月22日(木)	16サロン	314個	
	10月30日(金)	12サロン	312個	計 971個

○第六弾まごころ便

コロナ禍の最前線で細心の注意を払いながら、日々奮闘されている福祉関係施設や地域の活動者の方々に対し、企業や団体からご寄附いただいた物品等を「まごころ便」としてお渡しし、市内で頑張っておられる活動者を応援しました。

第六弾でも「まごころ便」を通して、地域の活動者と地域福祉活動団体や企業の方々の温かな善意の気持ちをつなぎ、このような時だからこそ、人と人との「絆」を紡いでいきたいと改めて考え、この取り組みを実施しました。

まごころ便案内先：53団体（福祉関係施設：24団体 児童育成クラブ：29団体）中
まごころ便お渡し先：20団体（福祉関係施設：6団体 児童育成クラブ：14団体）

○第七弾まごころ便

新型コロナウイルスの第四波が懸念される中、草津市内の働くひとり親世帯に応援ができないか、ということで、草津市内のひとり親世帯（令和2年度歳末たすけあい見舞金対象者）のうち、15歳以下の子どもが3人以上いる世帯にランチボックス（チキンと野菜カレー、サフランライス添え）を45食提供しました。ランチボックスについては、この活動に賛同いただいた一般社団法人全国日本司厨士協会滋賀県本部とフジノ食品㈱にご協力いただきました。

案内送付先：9世帯44人 配布先：6世帯（31人）

●ふくちゃんマスクプロジェクト

165,000円

手ぬぐいからマスク、クリアファイルからマスクケースを作ることによってボランティア活動の活性・活躍の場を広げ、個人ボランティアの育成や新たなボランティア団体等の立ち上げアイテムに活用することを目的にマスク・マスクケース作成の依頼また出張講座に出向き、ボランティア活動の活性に努めました。

出張講座

マスク出張講座	マスクケース出張講座
4回	3回

マスク作成団体

- 草津市赤十字奉仕団
 - 草津市教養大学院ボランティアグループ「ふくちゃん」
 - ほほえみ会
 - 草津学区社協拠点立ち寄りカフェ「ゆかい家」ボランティア
- 3/31現在 562枚作成(うち販売数76枚)

マスクケース作成団体

- たすけ愛隊 ママの手
 - 老上西学区健康推進員会
 - 草津市教養大学院ボランティアグループ「ふくちゃん」
- 3/31現在 167個作成(うち販売数59枚)

●地域支え合い運送支援

1,358,316円

地域の活動団体が主体となって実施する移動困難者のボランティア運送事業を支援するため、活動者や、活動に関心のある市民を対象とした安全運転講習会を実施し、安全に事業運営していただけるよう努めました。

また、新たに南笠東学区で事業が開始されるにあたり、実施に向けて要綱の作成等の支援を行いました。さらに、新たな学区での事業実施にあたって協定書調印式を開催し、南笠東学区と協定を結び、事業の周知も図りました。

○実施学区

- ・志津南学区（事業主体：志津南学区まちづくり協議会）
※平成26年9月より事業実施【ダイハツタントを貸与】
- ・山田学区（事業主体：山田学区社会福祉協議会）
※平成26年11月より事業実施【トヨタヴィッツを貸与】
- ・老上学区・老上西学区（事業主体：老上学区社会福祉協議会・老上西学区社会福祉協議会）
※平成30年4月より事業実施【ダイハツタントを貸与】
- ・南笠東学区（事業主体：南笠東学区社会福祉協議会）
※令和2年10月より事業実施【ダイハツタントを貸与】

	志津南		山田		老上・老上西		南笠東
事業主体	志津南学区 まちづくり協議会		山田学区 社会福祉協議会		老上学区・老上西学区 社会福祉協議会		南笠東学区 社会福祉協議会
実施主体	志津南学区 社会福祉協議会				老上送迎サポート		南笠東学区 まちづくり協議会
年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度
利用 登録者数	20人	20人	12人	10人	30人	30人	104人
延べ 送迎人数	26人	127人	28人	54人	67人	101人	201人
送迎 ボラ人数	8人	6人	3人	3人	10人	10人	8人
送迎日数	25日	89日	19日	32日	67日	101日	106日
走行距離	291km	1,693km	125km	236km	706km	974km	2,635km
送迎先	近隣病院 地域の会館	近隣病院 診療所 まちづくり センター	まちづくり センター	まちづくり センター	近隣商業施設 近隣病院	近隣商業施設 近隣病院	近隣病院 公共施設 近隣商業施設

○南笠東学区地域支え合い運送支援事業協定書調印式

開催日：令和2年10月10日（土）

場 所：草津市社会福祉協議会

参加者：27人

○安全運転講習

開催日：令和2年12月1日（火）

場 所：草津市社会福祉協議会

内 容：・講話「安全運転のための条件～危険予測で事故を防ぐ～」

講師：あいおいニッセイ同和損保株式会社 木村正さん・山本勇一さん

・地域支え合い運送、福祉車両貸出事業について

・ボランティア同士の交流会

対象者：福祉車両貸出事業登録運転ボランティア

地域支え合い運送支援事業実施学区の送迎ボランティア

福祉車両貸出事業や地域支え合い運送支援事業に関心のある市民

参加者：28人

●福祉車両貸出

626,897円

家庭の事情や経済・身体状況などにより病院などへの送迎が必要な方に対して福祉車両を貸出すことにより、登録いただいている送迎ボランティアに送迎を依頼し、安心・安定した生活を送ることができるよう支援しました。

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
タント1号	49回	54回	46回
タント2号	143回	152回	140回

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
送迎ボランティア数	10人	13人	11人
送迎依頼者数	10人	8人	6人
送迎対応件数	192回	206回	186回

●独居高齢者電話訪問

50,769円

65歳以上の一人暮らしや昼間独居の高齢者で話し相手を希望する方に、傾聴ボランティアが電話訪問することで孤立や孤独に陥らないように民生委員・児童委員と連携して支援しました。

利用者：16人 傾聴ボランティア：11人

	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
電話訪問回数	227回	191回	174回	146回	137回

○傾聴ボランティア連絡会

傾聴ボランティアの情報交換やスキルアップの場として、毎月第2金曜日に傾聴ボランティア連絡会を開催し、精神保健福祉士の助言をうけ、傾聴ボランティアの役割やより良い聴き手になれるよう研鑽を積みました。

●草津フードバンクセンター

重点4

119,196円

生活に困窮している世帯や住民同士の支え合い活動を実施する団体に対して、草津フードバンクセンターに集まった食糧を無償で提供し、地域福祉活動の推進に努めました。また、企業や個人にとっては、フードバンク事業への協力が社会貢献や地域福祉活動への参加・協力になるという善意の循環システムの構築を図りました。また、今年度は新型コロナウイルスの影響により、行き場のなくなっ

た多くの食品を給食センターや企業からご寄附いただき、必要とされる福祉関係施設にお渡しすることでフードロスの削減に繋がりました。なお、より多くの方にフードバンク・フードドライブの活動を周知し、推進していくために、フードドライブの時期に公共交通機関のアクセスの良い場所に食品集積所として、「移動フードドライブ」を3カ所設置しました。さらに、フードバンクセンター協力ボランティアも増え、7人のボランティア活動者で活動をすることができました。

また、フードバンクでのフードロスを減らす取り組みとして賞味期限切れの食品を扱うエコイートと連携を図りました。

ご寄附いただいた食品は、以下の団体に受け渡しました。

○子どもたちなどを対象にしている団体への支援（15団体）

- ・矢倉学区社会福祉協議会「にこにこレストラン」
- ・山田学区社会福祉協議会・民生委員児童委員協議会「キラキラキッチンやまだっ子」
- ・多文化共生支援センター
- ・NPO法人宅老所 心
- ・のびっ子玉川
- ・のびっ子老上
- ・のびっ子志津南
- ・れもんのこ 南草津保育園
- ・児童育成クラブくじら
- ・NPO法人やんちゃ寺
- ・のびっ子大路
- ・のびっ子老上西
- ・のびっ子山田
- ・KRM児童育成クラブ
- ・児童育成クラブスポキッズ草津

○学区社会福祉協議会への支援（8団体）

- ・草津学区社会福祉協議会
- ・老上学区社会福祉協議会
- ・老上西学区社会福祉協議会
- ・山田学区社会福祉協議会
- ・志津南学区社会福祉協議会
- ・渋川学区社会福祉協議会
- ・南笠東学区社会福祉協議会
- ・志津社会福祉協議会

○高齢者施設（7団体）

- ・特別養護老人ホーム 風和里
- ・フェイス小規模多機能型居宅介護
- ・菖蒲の郷
- ・社会医療法人誠光会 介護老人保健施設草津ケアセンター
- ・居宅支援事業所 きらら
- ・生活介護事業所あゆみ
- ・社会福祉法人寿会 常輝の里

○障害者施設（16団体）

- ・NPO法人滋賀県社会就労事業振興センター就労継続支援B型事業所 JALAN
- ・NPO法人滋賀県社会就労事業振興センター共同生活援助事業所 RUMAH RUMAH
- ・社会福祉法人にぎやか会 にぎやか工房
- ・社会福祉法人こなんSSN 就労継続支援B型事業所 こなんSSN
- ・社会福祉法人こなんSSN 就労継続支援B型事業所 シエスタ
- ・社会福祉法人若竹会 ワークステーションわかたけ
- ・社会福祉法人よつば会 障害福祉サービス事業所 むつみ園
- ・滋賀県立信楽学園
- ・就労移行支援事業所 クロスジョブ草津
- ・びわこ学園医療福祉センター草津
- ・だんらんの家
- ・NPO法人きらら

- ・元気づみーオ
- ・ウェルメント草津
- ・滋賀県立むれやま荘
- ・自立訓練（生活訓練）事業所フリータイム

○地域で福祉活動をされている団体（2団体）

- ・草津市赤十字奉仕団
- ・フードバンク滋賀（生活困窮世帯への支援活動）

○生活に困窮されている世帯への緊急食糧支援

（移動フードドライブ）

	場 所	時 期
JR 草津駅付近	市立まちづくりセンター (市コミュニティ事業団)	秋のフードドライブ期間 10/1～10/15
JR 南草津付近	カフェほっこり (老上まちづくりセンター内)	冬のフードドライブ期間 10/22、11/18
草津市役所	草津市役所2階 (健康福祉政策課内)	秋のフードドライブ期間 10/15～10/30
		冬のフードドライブ期間 11/16～11/30

（寄附物品、寄附者一覧）

期間		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第1～5回 合計
		春	夏	秋	冬	冬以降	
		3/8～4/8	5/7～8/3	8/25～11/2	11/5～12/17	12/28～3/30	
寄附物品	米	168kg	233kg	394kg	311kg	113.64kg	1219.64kg
	米以外	150品	139品	460品	773品	715品	2,237品
寄附者 (移動フードドライブ)	団体	1件	0件	1件	3件	8件	13件
	個人	3件	19件	25件	18件	15件	80件
	合計	4件	19件	26件	21件	23件	93件

（寄附食品配分一覧）

	米(kg)	米以外(品)										米以外 合計(品)
		乾麺	乾物	缶詰	レトルト	食用油	ルー	調味料	菓子	飲料	その他	
子どもたちなどを対象にしている団体	54	23	4	8	68	1	7	21	30	16	59	237
学区社会福祉協議会の活動拠点、社会福祉などへの支援	95	4	26	25	0	5	0	28	6	11	18	123
障害者施設・高齢者施設への支援	457.44	131	187	135	458	5	34	126	200	116	36	1,428
地域での福祉活動をされている団体	290.2	16	58	31	108	1	1	22	11	9	15	272
地域での福祉活動をされている団体	290.2	16	58	31	108	1	1	22	11	9	15	272

	米(kg)	米以外(品)										米以外
		乾麺	乾物	缶詰	レトルト	食用油	ルー	調味料	菓子	飲料	その他	合計(品)
生活に困窮されている世帯への緊急食糧支援	90	1	3	7	0	0	0	0	0	0	5	16
学生支援	233	13	32	12	31	3	12	31	3	1	20	158
期限切れを扱うお店	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
期限切れまたは状態が悪いため廃棄	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	1219.64	188	310	218	666	15	54	228	250	153	154	2,236
令和2年度総寄附数	1,422	196	316	232	597	22	56	241	259	158	156	2,341
令和3年に繰り越し	202.8	8	6	14	12	7	2	13	9	5	1	77

コロナ禍による拡大配分

寄附企業・団体名	寄附物品	数量	配分先	期間
給食センター	生鮮食品	6,805.55kg	高齢者施設・障害者施設等 48か所	4/24～4/27 4/30～5/1
フェリエ南草津テナント会	お菓子	520個	児童育成クラブ6団体	6/11、6/12
日本農産(株)	玉ねぎ	9,000個	福祉関係施設・団体15か所	6/27、7/10
匿名	納豆	680個	福祉関係施設・団体6か所	1/28～1/29
コカ・コーラ株式会社	飲料	1,200本	144地域サロン	7/16
匿名	飲料	120本	14学区社会福祉協議会	1/27

●関係団体への支援

112,000円

関係団体が実施する事業に対し助成を行い、活動を支援しました。

- 寝たきり・認知症予防助成(草津市老人クラブ連合会・72,000円)
高齢者を対象とする健康増進事業に対する助成により活動を支援
- 知的障害者社会参加自立支援(草津手をつなぐ育成会・40,000円)
共同作業所で働く知的障害者の社会参加を促す交流や余暇活動への支援

●地域のふれあいの場づくり助成

重点1

300,000円

住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるための活動をしている学区社協の新たな地域福祉活動の立ち上げ、既存の地域福祉活動の拡大・拡充を支援することを目的として、「地域のふれあいの場づくり助成事業」を実施しました。採択にあたっては、草津市社会福祉協議会で助成先を決定し、地域福祉活動計画策定委員会で採択学区の報告をしました。

- 申請学区…3学区
- 採択学区…3学区
 - ・玉川学区：ふれあいの場応援事業
 - ・南笠東学区：南笠東学区支え合い運送支援事業
 - ・山田学区：山田の絆推進事業

●福祉機器リサイクル（貸出事業）

143,000円

病気や怪我などで必要とされる方の便宜を図るため、不要になった福祉用具のリサイクル事業を実施し、3か月を基準として最長6か月以内の期間で福祉用具を貸出しました。

貸出備品	令和2年度	令和元年度	平成30年度
車椅子	164回	162回	162回
杖	0回	3回	6回

なお、杖については利用がないことから、広報紙「社協くさつ」にて周知を行い、令和3年3月15日～19日の期間で希望者に対し25本の譲渡を行いました。

<第3次草津市地域福祉活動計画 体系図>

基本理念：こころ温かく支えあい 住みつづけたい 福祉のまち・くさつ

I 住民主体の福祉のまちづくり ～参加と協働の地域福祉活動の推進～

基本目標1 福祉の風土づくり

子どもから高齢者まで一人ひとりが尊重され、くらしの課題を他人ごととしない福祉の風土をつくるため、地域福祉活動の魅力を広く広報し、住民への啓発に取り組みます。

○推進項目：地域福祉活動の周知・啓発

- 重点項目① 地域の活動を見せる福祉の風土づくり
- 重点項目② 住民どうしが互いに見守り励ましあう関係づくり
- 重点項目③ ボランティア活動を応援する環境づくり

基本目標2 住民主体の活動づくり

くらしの課題を共有し、解決に向けての地域福祉力向上を図るため、人づくりとその人を支援する体制をつくりまします。

○推進項目：地域福祉力の向上

- 重点項目① 地域福祉活動の担い手づくり
- 重点項目② 地域で支えあう仕組みづくり
- 重点項目③ 住民福祉活動計画の推進

基本目標3 絆をつむぐまちづくり

住民どうしがふれあい、いきいきと楽しく活動するボランティアの輪を広め、絆をつむぐことができる地域を創ります。

○推進項目：ボランティア活動の充実と住民参加の仕組みづくり

- 重点項目① ボランティア活動の充実と活性化
- 重点項目② ボランティア活動への住民参加の促進
- 重点項目③ すべての人が社会参加する仕組みづくり

II 市社協が取り組む福祉のまちづくり ～地域福祉活動発展計画～

○推進項目：住み慣れた地域で安心して暮らせる体制づくり

- 重点項目① 学区社協活動をはじめとした地域福祉活動支援
- 重点項目② 小地域福祉活動における民生委員児童委員との連携
- 重点項目③ ボランティアセンターの機能強化

○推進項目：個別援助活動の充実と市社協の基盤づくり

- 重点項目① 地域福祉権利擁護事業の充実
- 重点項目② 心配ごと相談・貸付事業の充実
- 重点項目③ 行政・専門機関、福祉専門職との連携強化
- 重点項目④ 役員体制と事務局体制の強化
- 重点項目⑤ 地域福祉活動推進に要する財源確保

市社協が担う事務局機能

○草津市民生委員児童委員協議会事務局

○滋賀県共同募金会草津市共同募金委員会事務局

○日本赤十字社滋賀県支部草津市地区事務局

(3) ボランティア活動の充実と住民参加の仕組みづくり

住民どうしがふれあい、いきいきと楽しく活動するボランティアの輪を広め、絆をつむぐことができる地域をつくりまします。

● ボランティアフェスティバル

192,793 円

令和元年に引き続き、草津青年会議所・草津市コミュニティ事業団と緑波祭実行委員会を組織し、4月から8月まで毎月1回、開催に向けて検討を進めましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止としました。

しかし、草津市福祉教養大学大学院生が自分たちにできる活動の第1歩として「ボランティアグループふくちゃん」を立ち上げ、コロナ禍でできる実践活動の場として、「あなたのための音楽祭」を企画し、この「あなたのための音楽祭」をボランティア活動者同士をはじめとした参加者のつながりをつくる場である「ボランティアフェスティバル」として位置付け、開催しました。

○あなたのため音楽祭～第9回ボランティアフェスティバル～

日 時：令和2年11月14日（土） 午前の部⇒10：00～11：30

午後の部⇒13：30～15：00

場 所：草津市市立草津アマカホール

内 容：音楽ボランティアグループによる演奏会

6団体○よし笛同好会

○ウクレレフレンドリー

○LaLaLa 友&楽吹

○ヘルマンハーブアンサンブル「リンデンバウム」

○ラブ・フレンドリー

○狼我和音

参加者 事前申し込み制：午前の部⇒参加者16組26人

午後の部⇒参加者5組12人

● 災害ボランティアセンター

重点3

56,872 円

毎年実施している運営訓練を、今年度は例年の運営方法とは異なり、新型コロナウイルス感染症に特化した訓練内容で実施することとし、訓練検討委員会を4回開催し、準備を進めました。また、今年度は班長会議を実施せず、訓練検討委員会の中で各班の業務内容等の確認、シミュレーションを行い、コロナ禍でのセンターの運営方法を検討しました。訓練での三密を防ぐために、参加人数を例年の半数とし、災害ボランティアセンター運営協議会構成団体へ参加を呼びかけましたが、新型コロナウイルス感染症拡大傾向を受け、参加者の健康や安全面を第一に考慮し、今年度の訓練実施は中止しました。

また昨年度に、草津市、草津青年会議所および草津市社会福祉協議会の三者で「災害時の被災者支援に関する相互協力協定」を締結したことを受け、日頃からの協力体制を高めていくために、三者で協力し、災害ボランティアセンターについての研修会を開催しました。草津青年会議所とは災害ボランティアセンターの周知・啓発を図っていくために、協力して3枚のパネルを作成し、研修会等で活用しました。

【運営訓練本番】

※以下の日程で予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大傾向により中止としました。

開催日：令和3年1月23日（土）

場 所：草津市社会福祉協議会

対 象：災害ボランティアセンター運営協議会構成団体

参加者：50人（予定）

【運営協議会】

	開催日	内容	参加者
第1回	令和2年 12月14日（月）	・草津市災害ボランティアセンター運営訓練（案）について	15人

【運営訓練検討委員会】

	開催日	内容	参加者
第1回	令和2年 11月 2日（月）	・昨年度訓練の振り返り ・草津市災害ボランティアセンター運営訓練（案）について	12人
第2回	令和2年 11月26日（木）	・草津市災害ボランティアセンター運営訓練（案）について ・訓練時各班業務内容について	12人
第3回	令和2年 12月22日（火）	・草津市災害ボランティアセンター運営訓練（案）について ・訓練時各班業務内容について	7人
第4回	令和3年 1月14日（木）	・草津市災害ボランティアセンター運営訓練（案）について ・訓練のシミュレーション	12人

【災害ボランティアセンター研修会】

開催日：令和2年11月26日（木）

場 所：草津市社会福祉協議会

対 象：災害ボランティアセンター運営協議会構成団体

参加者：18人

内 容：○社会現象としての災害（草津青年会議所）

○災害ボランティアセンターの意味と意義（草津市総合政策部危機管理課）

○災害ボランティアセンターの取り組み（草津市社会福祉協議会）

●移動ボランティアセンター

今年度は、志津小学校と渋川小学校にて福祉教育についての講座や、収集ボランティアについての啓発を行いました。

○日時：令和2年9月24日（木）11：30～12：00

内容：「人にやさしいまちづくり学習」・車いすの操作方法について、収集ボランティア啓発

場所：志津小学校

○日時：令和3年1月18日（月）9：30～10：00

内容：「人にやさしいまちづくり学習」・車いすの操作方法について、収集ボランティア啓発

場所：渋川小学校

●収集ボランティア啓発

2,040 円

コロナ禍でも身近にできるボランティア活動として、使用済み切手、カード、書き損じはがき、プルトップ、ペットボトルキャップなどの収集の啓発に努めました。また、使用済み切手については、裏面が封筒になるクラフトチラシを小・中学校や図書館、地域まちづくりセンター等に配布し、周知・啓発を図りました。

【収集実績】

(カッコ内は前年度)

○使用済み切手	1 4 8 件			(1 0 4 件)
○使用済みカード	8 件			(0 件)
○書き損じはがき	4 件	1 2 枚		(1 件)
○ペットボトルキャップ	3 4 7 件	1 7 6 9 . 2 kg		(2 5 4 件 1 2 2 2 . 1 kg)
○プルトップ	1 7 0 件	1 7 9 . 1 kg		(1 3 0 件)

※前年度は未計量のため件数のみ表示

【協力団体】

○幼・保育園 (5 園)	○学校 (小学校 5 校、中学校 3 校、高校 1 校)
○地域まちづくりセンター (8 カ所)	○まちづくり協議会 (3 学区)
○企業 (1 4 団体)	○ボランティアグループ (1 0 団体)
○地域サロン (5 サロン)	○市役所 (6 部署)
○その他 (1 3 団体)	

【クラフトチラシの配布】

配布数	1 8 0 枚
配布先	小学校福祉教育

●福祉教育の推進・ボランティア体験教室

3,120 円

小中学校の子ども達への福祉教育の推進を目的として「福祉教育のてびき」を作成し 1 4 学区まちづくりセンター、小学校 1 4 校、中学校 6 校、市立教育研究所、市学校教育課にお渡ししました。

また、ボランティア活動や地域福祉活動の理解を広げるため、ボランティア体験教室や、学校等の福祉教育を支援しました。

	実施回数	実施内容 内訳				
		車いす体験	点字体験	手話体験	盲導犬の理解	視覚障害者の理解
小学校	1 3	2	2	7	1	1

●ボランティアグループ・地域サロン活動リスト/出前ボランティア一覧作成

3,750 円

【ボランティアグループ・地域サロン活動リスト】

ボランティアグループ・地域サロン間で情報を共有していただき、活動の活性化につなげることや、ボランティアの仲間作りに役立てていただくことを目的に作成しました。

ボランティアグループをジャンル別に掲載することで、どのようなグループが市内で活動されているか検索しやすくしました。また地域サロンは学区別に掲載し、市内のどこで活動されているかが分かるようにしました。

○2色刷り 1 2 6 部作成

○配付先：登録ボランティアグループ、地域サロン、学区社協、学区民児協、市役所、地域包括支援センター、草津市コミュニティ事業団、地域まちづくりセンター、図書館、隣保館等

【出前ボランティア一覧】

地域に出向いていただけるボランティアグループの紹介とボランティア活動の場の提供、活動の促進を目的として作成しました。

○カラー用紙・2色刷り320部作成

○配布先：施設、地域まちづくりセンター、図書館、隣保館、地域サロン、学区社協、学区民児協、幼・保育園、こども園、小・中学校

●市ボランティア連絡協議会活動助成

48,000 円

ボランティアグループの横のつながりを強化し活動を広げるため、ボランティア連絡協議会活動を支援しました。

○加入グループ 42グループ（会員数758人）

○役員会・総会の支援

総会の準備や代表者会議に出席しました。

日時	会議の種類	内容	参加者
令和2年 5月19日(火) 【中止】	第34回 総会	【書面決議】 ・令和元年度事業報告および会計報告 ・令和2年度事業計画(案)および会計予算(案)	
令和2年 6月25日(木)	代表者会議	・令和2年度 交流会・研修会について	25人
令和2年 9月15日(火)	会員研修会	【講演】 内容：コロナ禍でのボランティア活動 ～今できることは～ 講師：龍谷大学 社会学部 現代福祉学科教授 筒井のり子 さん	30人
令和2年 12月17日(木)	代表者会議	・まちづくり協働課より、市民総合交流センター(キラリエ草津)における現段階での会議室利用についての説明	17人

●ボランティア保険加入促進

152,700 円

ボランティア活動が安心して行えるよう「ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償する」ボランティア活動保険の加入を促進しました。

今年度は従来のBプランが無くなり、基本プランと天災プランの2プランのみに改正されました。

保 険 種 類	令和2年度	令和元年度
ボランティア活動保険 基本プラン(旧:Aプラン) (旧:Bプラン)	3,216人	3,182人
天災プラン(旧:天災Aプラン) (旧:天災Bプラン)	567人	60人
連協加入	506人	522人
ボランティア行事用保険	120件	245件
送迎サービス保険	2件	2件
福祉サービス総合保障	11件	12件

●ボランティア団体活動助成

475,000円

市ボランティアセンターに登録しているグループを対象にボランティア活動の推進を図ることを目的に、1グループに対して5,000円を助成しました。

○助成団体数：97グループ（昨年度102グループ）

●民間助成の支援（意見書作成）

高齢者・児童・障害児者福祉活動を資金面で応援するため、各種機関から助成制度があり、意見書を添付することで民間助成を支援しました。

○ダイترون福祉財団

【草津点字グループ「あゆみ会」】

○しがぎん福祉基金助成

【特定非営利活動法人 宅老所 心】

【社会福祉法人 にぎやか会】

【合同会社 ONE TEAM 滋賀】

○2020年度「元気シニアA応援団体に対する助成活動」

【たすけ愛隊「ママの手」】

（4）住み慣れた地域で安心して暮らせる体制づくり

①学区社協活動をはじめとした地域福祉活動支援

②小地域福祉活動における民生委員・児童委員との連携

③ボランティアセンターの機能強化

●学区社協会長会の実施（学区社協便覧の作成等）

384,204円

学区社協会長同士の情報交換や福祉のまちづくりを推進することを目的に会議を実施しました。

今年度については、新型コロナウイルス感染症拡大により、学区社協の活動をはじめ、地域の活動がなかなか実践できない状況となったため、市社協の取り組みや各学区の取り組みなどをまとめた「自分のために みんなのために そして大切な人のために 私たち一人ひとりができること新聞」や、新しい生活様式に応じた地域活動として新しい地域福祉活動15例の提案を行い、活動の参考にしていただきました。

この他、学区社協便覧の作成や、医療福祉を考える会議の進捗状況などをテーマとして意見交換の場を持ち、会長同士が積極的に情報交換できるよう努めました。

また、学区社協事務局長等会議を実施し、会長だけでなく、会長を支える事務局長にも今後活用いただけるような情報等を知っていただき、学区社会福祉協議会活動がより充実したものとなるよう支援しました。

○学区社協会長会

日 時	主 な 協 議 内 容
令和2年 4月20日（月） ⇒文書審議	<ul style="list-style-type: none">・笠縫学区社会福祉協議会会長交代について・地域のふれあいの場づくり助成事業について・福祉委員の委嘱について・他機関の委員委嘱について・民間助成事業の案内について・令和元年度の賛助会費の実績について

<p>令和2年 5月20日(水) ⇒文書審議</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域懇談会の延期について ・令和2年度社会福祉協議会一般会費・賛助会費について ・「第70回社会を明るくする運動」の街頭啓発の中止について ・学区社協活動についてのコロナ禍での思い等メッセージ募集について ・民間助成事業の案内について ・「自分のために みんなのために そして大切な人のために 私たち一人ひとりができること新聞」の発行
<p>令和2年 6月22日(月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度赤い羽根共同募金運動へ協力依頼について ・令和2年度草津市社会福祉協議会会長表彰の候補者の推薦について ・地域サロン補助金について ・地域福祉活動助成事業補助金の交付について ・賛助会費の募集時の市社協会長メッセージの配布について ・令和2年度学区社協便覧について ・令和2年度第三回草津市福祉教養大学について ・学区社協メッセージ募集について ・この時期だからこそできる新しい地域福祉活動15例の提案について ・「自分のために みんなのために そして大切な人のために 私たち一人ひとりができること新聞」の発行
<p>令和2年 7月20日(月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歳末たすけあい募金街頭啓発の実施協力のお願について ・令和2年度滋賀県社会福祉協議会縁特別会員の分担金について ・敬老会について ・地域サロン申請状況と補助金交付について ・ふれあいの場づくり事業の採択について ・賛助会員応援ステッカーについて ・民間助成事業の案内について ・地域支え合い送迎事業車両貸与に係る調印式について ・学区社協活動の広報記事について ・「自分のために みんなのために そして大切な人のために 私たち一人ひとりができること新聞」の発行
<p>令和2年 8月18日(火)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新人職員紹介・市社協職員地域支援担当について ・令和2年度赤い羽根共同募金運動「街頭キャンペーン」について ・歳末たすけあい街頭募金運動の日程について ・令和2年度共同募金運動協力依頼説明会の日程について ・令和2年度賛助会費募集日程について ・フードバンクセンター事業について ・各学区社協の今後の活動について ・令和2年度草津市社会福祉協議会講演会(役員等研修)について ・民間助成事業の案内について ・緑波祭中止について ・「自分のために みんなのために そして大切な人のために 私たち一人ひとりができること新聞」の発行

令和2年 9月23日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・8月度学区社会福祉協議会事務局長等会議の報告について ・共同募金運動について ・歳末たすけあい子ども支援事業助成について ・草津市平和祈念のつどいについて ・令和2年度草津市社会福祉功労者表彰式の開催について ・学区社協今後の活動、第四弾まごころ便について ・民間助成事業の案内について ・「自分のために みんなのために そして大切な人のために 私たち一人ひとりができること新聞」の発行
令和2年 10月20日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度草津市社会福祉功労者被表彰者の決定について ・令和2年度「安全運転講習&送迎ボランティア交流会」について ・災害ボランティアセンター研修会について ・令和2年度草津市福祉教養大学 大学院の活動について ・民間助成の案内について
令和2年 11月20日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・第4期草津市地域福祉計画(案)の概要について ・学区・区社会福祉協議会 住民福祉活動計画について ・草津市民生委員・児童委員推薦学区内申会委員の推薦について ・草津市災害ボランティアセンターについて ・令和2年度「草津市青少年育成大会」の参加について ・民間助成事業の案内について
令和3年 1月20日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度赤い羽根共同募金の実績報告について ・令和2年度学区社協活動の振り返りと令和3年度に向けての抱負について ・草津市災害ボランティアセンター運営訓練の中止について ・民間助成の案内について
令和3年 2月22日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍に立ち向かう草津市社協の魅力活動について ・一般会費・賛助会費の報告とお礼について ・令和3年度地域福祉活動推進事業補助金について ・令和2年度地域福祉活動推進事業補助金について ・令和3年度版草津市学区・区社会福祉協議会便覧の提出について ・令和2年度地域サロン事業報告書および令和3年度地域サロン事業計画書の提出について

○事務局長等会議

開催日	内容
令和2年 8月31日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度草津市社会福祉協議会の事業について ・意見交換
令和3年 3月2日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍に立ち向かう草津市社会福祉協議会の魅力活動について ・一般会費、賛助会費の報告とお礼について ・令和3年度地域福祉活動推進事業補助金について ・令和2年度地域福祉活動推進事業補助金について ・令和3年度版学区社協便覧について ・令和2年度地域サロン事業報告書および令和3年度地域サロン事業計画書の提出について ・意見交換

●地域福祉活動助成

6,345,900円

地域の支えあい活動を推進するため、「福祉の土壌づくり」「活動の担い手づくり」「個別援助活動」「地域福祉関係団体間の交流」等の地域福祉活動を展開する補助金を学区社協へ交付しました。また、個人・企業から集まった賛助会費について、地域の特徴を生かした学区社協活動へ助成を行いました。

●地域福祉コーディネーターによる学区社協活動支援

14学区すべてに地域福祉コーディネーターを設置し、学区社協活動に参加・協力、支援をしてきました。

特に近年、広がりを見せる医療福祉を考える会議では、打ち合わせ会議や振り返りの会議に参画し、住民が高齢者に関する生活問題について、専門機関と情報を共有し、新たな気付きが生まれ、地域福祉活動に広がりや深みができるよう支援しました。

学区・区	令和2年度 支援回数	主な支援内容
志津	97回	・医療福祉を考える会議への支援 ・民間助成活用等への支援
志津南	52回	・ふれあいハウス絆への支援 ・医療福祉を考える会議への支援
草津	24回	・立ち寄りカフェゆかい家への支援 ・草津の健幸を語り合うプロジェクトへの支援
矢倉	43回	・ふれあい喫茶憩への支援 ・矢倉にここにレストランへの支援
大路	25回	・医療福祉を考える会議立ち上げに向けての支援
渋川	21回	・医療福祉を考える会議への支援
老上	47回	・老上送迎サポートへの支援 ・医療福祉を考える会議への支援
老上西	19回	・老上送迎サポートへの支援 ・民間助成活用等への支援
玉川	107回	・医療福祉を考える会議への支援 ・ふれあいの場応援事業への支援
南笠東	125回	・地域支え合い運送支援事業への支援 ・医療福祉を考える会議（福祉懇談会）への支援
山田	56回	・医療福祉を考える会議への支援 ・民生委員・児童委員と福祉委員の研修会調整への支援
笠縫	130回	・医療福祉を考える会議への支援 ・学区地域サロン交流会への支援
笠縫東	46回	・医療福祉を考える会議への支援 ・ふれあいサロン（もちつき大会）への支援
常盤	92回	・医療福祉を考える会議への支援 ・一人暮らし高齢者給食事業への支援
計	884回	

●地域福祉活動推進の支援強化【拡大】

重点1

93,304円

令和2年度は第3次草津市地域福祉活動計画の4年目であり、計画の進捗状況を把握すべく、これまでの取り組みなど内容の点検や評価を行いました。また、今年度については、新型コロナウイルス感染症により新しい生活様式に配慮した地域福祉活動についても意見交換を行い、取り組みの評価や見直しを行いました。また、令和3年度に策定する第4次草津市地域福祉活動計画に対するご意見の他、令和3年5月にキラリエ草津に移転するにあたり市社協に期待することについて意見をいただき、今後の活動に反映させていただきます。

○策定委員会

開催日	内容
令和2年 9月8日(火)	第1回会議 ・第3次計画の中間評価について ・昨年度の事業報告と今年度の事業計画について ・地域のふれあいの場づくりについて
令和3年 1月8日(金)	第2回会議 ・令和2年度市社協事業について ・生活支援体制整備事業および医療福祉を考える会議について
令和3年 3月18日(木)	第3回会議 ・令和2年度の14学区の取り組みについて ・令和2年度に新たに取組んだ事業の検証について ・令和3年度の事業計画について ・第4次草津市地域福祉活動計画に向けて ～市社協活動への思い・期待すること～

●草津市民生委員児童委員協議会事務局

毎月1回総務会、必要に応じ総務委員会を開催し、関係機関・団体などからの情報提供や協議を実施しました。また、5部会2委員会1連絡会をはじめとした民児協活動が有効に機能するように支援し、職員の学区担当制による情報提供やアドバイスをを行い、個別援助活動が円滑にできるように支援・協力をしました。

○専門部会・委員会・連絡会活動の支援

部会・委員会・連絡会名	主な活動内容
地域福祉部会	「寄り添うことの大切さ」をテーマにしたパネルディスカッション形式の研修会の実施 単位民児協活動の活性化を図るため、交換民児協の結果のフィードバック
高齢者福祉部会	高齢者を取り巻く制度についての研修会の実施 地域包括支援センターについての勉強会の実施
障害福祉部会	障害福祉についての研修会の実施 「ふくふくサロン」への参加・協力
児童福祉部会	ICT教育についての研修会の実施 第2期子ども・子育て支援計画の現状についての研修会の実施
人権・同和部会	コロナに関わる人権についての研修会の実施
広報委員会	事例集「光もとめて」、広報紙「こぼと」の発行 より良い広報・啓発を行なうため研修会の実施
研修委員会	コロナ禍であってもできる形で、委員としての知識の習得と委員相互の交流を深めるためのグループ別研修の実施 *総会后研修は新型コロナウイルス感染症拡大のため、やむを得ず中止
主任児童委員連絡会	乳幼児健診(10か月健診)の見守り 小中学校との懇談会の実施 講師を招いた研修会の実施

●歳末たすけあい見舞金の配付

4,445,350円

市内の準要保護世帯に、民生委員・児童委員と協力して見舞金を配布しました。また、一時的に支援が必要な世帯には緊急的な支援として食糧を支給しました。

さらに、福祉施設、団体等へ見舞金を配布しました。

- 市内の準要保護世帯への見舞金（対象世帯：424世帯）
- 福祉施設、団体等への見舞金（44施設）
- 歳末たすけあい子ども支援事業助成（2学区）
- 一時的に支援が必要な世帯に、緊急の食糧支援（60件）

●ボランティアセンター運営

111,385円

地域で活躍されているボランティアグループ・個人ボランティアへの援助相談に応じ、ボランティア活動の活性化を図りました。また、ボランティアの支援を必要とされている方とセンター登録されているボランティアとの間で需給調整を行いました。

【登録ボランティアの推移】

年度	ボランティアグループ		個人ボランティア	合計登録人数
	グループ数	人数		
令和2年度	355団体	5,982人	48人	6,030人
令和元年度	357団体	6,372人	57人	6,429人
平成30年度	355団体	6,265人	54人	6,319人
平成29年度	331団体	5,000人	12人	5,012人
平成28年度	319団体	4,565人	13人	4,578人
平成27年度	319団体	5,052人	15人	5,067人

【ボランティア需給調整（令和2年度実績）】

合計 (件数)	学校（幼・保）	サロン	施設	個人	団体	町内会・ その他	レイカデ ィア大学	相談
50	11	15	3	1	8	3	15	9

（5）個別援助活動の充実と市社協の基盤づくり

- ① 地域福祉権利擁護事業の充実
- ② 心配ごと相談・貸付事業の充実
- ③ 行政・専門機関、福祉専門職との連携強化
- ④ 役員体制と事務局体制の強化
- ⑤ 地域福祉活動推進に要する財源確保

●自立生活支援専門員、生活支援員による生活支援

4,378,499円

判断能力が充分でないため、毎日の暮らしの中で福祉サービスの利用手続きや日常のお金の管理が不安な人が、地域で安心して生活を送れるように支援する地域福祉権利擁護事業の充実に努めました。

利用者に寄り添った、确实できめ細かな支援を継続できるよう、今年度は生活支援員を6名増員しました。

【相談件数】

	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
高齢者	334件 (157件)	280件 (118件)	355件 (267件)	647件 (383件)	218件 (170件)
知的障害者	722件 (102件)	823件 (220件)	938件 (163件)	1,350件 (268件)	587件 (115件)
精神障害者	1,152件 (761件)	970件 (477件)	901件 (544件)	708件 (320件)	550件 (207件)
身体障害者	74件 (9件)	216件 (14件)	—	—	—
その他	0件(0件)	0件(0件)	0件(0件)	0件(0件)	0件(0件)
計	2,282件 (1,029件)	2,289件 (829件)	2,194件 (974件)	2,705件 (971件)	1,355件 (492件)

※平成29年度からは、電話相談等の支援についても件数として計上

※令和元年度から身体障害者項目追加

※()は生活保護受給者からの相談件数

【契約人数の推移】

	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
高齢者	7人	5人	5人	5人	7人
知的障害者	21人	22人	24人	26人	27人
精神障害者	16人	14人	15人	12人	12人
身体障害者	1人	1人	—	—	—
その他	0人	0人	0人	0人	0人
合計	45人	42人	44人	43人	46人

【参考：契約人数の状況】

	令和元年度 契約人数 (A)	令和2年度 解約人数 (B)	令和2年度 新規契約人数 (C)	3月末現在契約人数 (内生活保護) (A) - (B) + (C)
高齢者	5人	1人	3人	7人(4人)
知的障害者	22人	3人	2人	21人(4人)
精神障害者	14人	2人	4人	16人(7人)
身体障害者	1人	0人	0人	1人(1人)
合計	42人	6人	9人	45人(16人)

【支援回数】

	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
支援回数	1,058回	915回	829回	808回	729回
内生活保護受給者支援回数	325回	280回	309回	301回	291回

○支援専門員・生活支援員の体制

- ・支援専門員： 4人
- ・生活支援員： 25人（男性： 7人 女性：18人）

●地域福祉権利擁護事業 新規相談の受け経路

- ・地域包括支援センターからの相談 15件
- ・障害者福祉センターからの相談 5件
- ・ケアマネジャーからの相談 4件
- ・その他支援機関からの相談件数 14件

●心配ごと相談所開設

1,260,555 円

住民の皆さんに身近な、なんでも相談窓口として「心配ごと相談所」を開設し、様々な相談に対応しました。

- 月曜日から金曜日の10時～12時、13時～15時に開設しました。
- 弁護士相談は、原則第1・第3水曜日に実施しました。
- 年4回発行の市社協広報紙「社協くさつ」に毎回掲載し、周知に努めました。

内容	令和2年度	令和元年度	内容	令和2年度	令和元年度	内容	令和2年度	令和元年度
離婚	5	6	生計	2	6	精神保健	1	2
家族	43	31	財産	16	21	苦情	8	9
人権・法律	15	2	住宅	4	9	職業・生業	4	23
事故	4	1	消費者問題	1	0	医療	6	1
結婚	0	1	環境	4	6	高齢者福祉	0	2
年金	0	0	児童福祉	1	0	教育・青少年	3	0
心身障害児童福祉	1	4	母子父子福祉	0	0	その他	81	148
合計							199	272

●相談員連絡会の開催

相談員連絡会は年6回開催し、相談員同士の情報交換を行いました。

●生活つなぎ資金貸付

1,331,800 円

民生委員・児童委員と連携し、一時的に生活困難に陥った世帯が再び安定した生活に戻るまでの間をつなぐため、生活つなぎ資金を貸し付けました。

【貸付相談件数】

	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
貸付相談件数	28件	42件	47件	45件	83件	84件

【貸付状況】

	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
貸付件数	25件	37件	32件	41件	62件	57件
貸付額	1,125,000円	1,540,000円	1,283,000円	1,970,000円	2,665,350円	2,595,000円

●生活福祉資金貸付

15,574,250 円

滋賀県社協が実施している生活福祉資金の貸付相談や手続きを行うための職員を配置し、生活困窮者に対する相談支援を実施しました。特に新型コロナウイルス特例貸付については、1年を通じてスピードのある貸付事務を推進しました。相談については、市に設置されているくらしのサポートセンターとも連携し、切れ目のない支援に努めました。

【貸付相談件数】

(単位：件)

	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
貸付相談件数	1,401	125	52	46	52	77

【貸付件数】

(単位：件)

	新型コロナウイルス特例貸付			総合支援資金	福祉資金		教育支援資金	不動産担保型生活資金	臨時特例つなぎ資金	生活復興支援資金	合計
	緊急小口資金	総合支援資金	延長、再貸付申請等		緊急小口資金	福祉費					
令和2年度	1,087	871	795	0	9	7	15	0	0	0	2,784
令和元年度				0	15	9	10	0	0	0	34
平成30年度				0	4	7	13	0	0	0	24
平成29年度				1	7	5	10	0	0	0	23
平成28年度				0	3	3	25	0	0	0	31
平成27年度				2	2	4	12	0	0	0	20
平成26年度				9	4	8	10	1	0	0	32

●生活支援体制整備事業（地域支えあい推進員の配置と協議体の設置） 重点1

20,736,459 円

○医療福祉を考える会議の支援

「生活支援体制整備事業」を市から受託し、事業の展開にとって極めて重要な場である医療福祉を考える会議の充実と、新たな学区での医療福祉を考える会議の立ち上げを支援しました。また、地域支えあい推進員（生活支援コーディネーター）を配置し、医療福祉を考える会議に積極的に関わり、地域づくりの支援を行いました。

また、学区住民に医療福祉を考える会議の周知・啓発を行うため、広報紙「社協くさつ」や市社協ホームページにて会議の様子の記事を掲載したり、地域によっては「医療福祉を考える会議新聞」を作成しました。

学区	開始年度	令和2年度			延べ本番会議開催数
		主なテーマ		本番会議開催数 (会議開催にあたる打合せ等の支援回数)	
志津	H27	志津のあんしんつながりプロジェクト		3回 (93回)	20回
志津南	R2	立ち上げとなる第1回目として、福祉セミナーを開催		1回 (35回)	1回
草津	H30	コロナ禍での支え合い、つながりについて考える		2回 (13回)	4回

学区	開始年度	令和2年度			延べ 本番会議 開催数
		主なテーマ	本番会議開催数 (会議開催にあたる 打合せ等の支援回数)		
大路	未実施	支えあいの機運を高める	—	(5回)	—
渋川	H27	「しぶはなちゃん健康相談サロン」の開催に向けて	1回	(12回)	9回
矢倉	H27	居場所を広げよう	0回	(26回)	12回
老上	H24	命のバトンの作成に向けて	1回	(16回)	19回
老上西	H24	他学区との交流をとおして地域で支え合うことの大切さを改めて考える	1回	(12回)	19回
玉川	H29	コロナ禍での介護現場の実態と在宅医療について	2回	(64回)	9回
南笠東	H28	学区の地域福祉活動の魅力を再確認する	1回	(35回)	7回
山田	H25	ゲームを通して楽しく地域を学ぶ	2回	(42回)	19回
笠縫	H28	見守りの体制づくり	6回	(94回)	26回
笠縫東	H24	学区にある事業所を知ろう	2回	(33回)	19回
常盤	H27	学区で最期まで自分らしく生きるには	0回	(62回)	10回
合計			21回	(542回)	173回

○地域資源リスト（みんなの生活 キラリ☆まもリスト）の作成

少子高齢化が進み、一人暮らしやさまざまな支援の必要な方等が地域で孤立することなく、安心して暮らしていける一助となることを目的とし、身近なところでの住民の方々の支え合い活動や集まりの場などの情報を収集し、了承いただいたものをリスト化し、支援の必要な方等からの相談があった際に活用いただければと市内の地域包括支援センターやケアマネジャーへ配布しました。

○生活支援体制整備事業 専門職へのアンケートを実施

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、年度当初は会議の開催を停止せざるを得ない状況となったため、学区医療福祉を考える会議への支援について改めて考える機会となるように、生活支援コーディネーター、各圏域地域包括支援センター学区担当職員、草津市地域保健課学区担当職員を対象に意識の共有を図るためのアンケート調査を実施しました。結果は三者へ報告し、学区支援をする際に活用いただくよう進めました。

○研修への参加

外部で実施される研修会に参加し、地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）としてのスキルアップを図りました。

開催日	実施主体	内容	参加者
令和2年12月4日(金)	令和2年度滋賀県生活支援コーディネーター基礎研修	・地域福祉の推進における生活支援コーディネーターの役割 ・他市の実践について	1人
令和2年12月11日(金)	令和2年度生活支援コーディネーターフォローアップ研修	コロナ禍における生活支援コーディネーターの役割	1人
令和2年12月22日(火)	我がまちの地域包括ケアを考える研修会(市町個別研修会)	我がまちの地域包括ケアの目指す姿について	1人

○地域包括支援センター、市等との連携

地域づくりは関係機関との連携が不可欠であるため、特に地域に入っていく中心を担う圏域地域包括支援センター・市・市社協で、医療福祉を考える会議の本会議の前に、三者で事前会議を十分に行い、丁寧な会議の開催に努めました。

また、地域包括支援センターが実施する地域ケア個別会議に随時参加し、生活支援コーディネーターとしての視点を用いながら多職種連携を高めるとともに、支援を必要とする高齢者のニーズの把握に努めました。

○市と市社協の連携強化

地域保健課、長寿いきがい課などと毎月調整会議を実施し、事業展開について協議しました。

●人づくりのサポートセンター等市関係機関との連携

- ・緊急小口資金特例貸付(新型コロナウイルス感染症特例貸付)を含めた相談受付・対応について、人づくりのサポートセンターと調整会議を実施し、新型コロナウイルス感染症により収入が減った方をはじめとする生活相談がスムーズに対応できるように連携を行いました。

- ・自立支援地域ケア個別会議

目標やアドバイスの達成状況を確認し、地域資源などの提供を行うことで、介護保険サービスだけでなく、地域での活動や参加につなげるアドバイスを行いました。

実施日：7月16日(木) 8月27日(木) 9月17日(木) 10月22日(木)
11月19日(木) 12月17日(木) 1月21日(木) 2月25日(木)

振り返り会議

実施日：6月3日(水) 7月1日(水) 8月5日(水) 9月2日(水)
10月7日(水) 11月11日(水) 12月2日(水) 1月6日(水)
2月3日(水) 3月3日(水)

- ・福祉関係課長会議

市福祉関係課長とコロナ禍での各課の取り組み等の共有を図りました。

実施日：令和2年8月11日(火)

●中間支援組織連携

中間支援組織として位置づけされている草津市コミュニティ事業団と共に、ロクハ荘での「とく得バスツアー」等の事業や、市社協・ロクハ公園、ロクハ荘・草津青年会議所との三者合同開催の緑波祭(ボランティアフェスティバル)は新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止となりましたが、緑波祭の開催に向けては、4月～8月まで毎月1回は企画運営会議を実施し、三者での連携・協働を図りました。

●第三者委員の設置

苦情対応窓口を設置し、苦情解決の第三者委員会を開催しました。

開催日：令和3年3月17日（水）

場 所：草津市社会福祉協議会

内 容：苦情・事案の報告（生活福祉資金・生活つなぎ資金貸付事業、草津市地域福祉権利擁護事業、民生委員児童委員事務局関係、共同募金委員会事務局関係、日本赤十字社滋賀県支部草津市地区委員会事務局関係）

第三者委員：小林由美子、奥井晴喜、長谷川清

●役員会の開催ならびに研修会の開催

773,795 円

理事会、評議員会、正副会長会、評議員選任解任委員会を適宜開催するとともに、研修会の実施や参加、他機関の会議等への積極的な参加協力を行い、役員体制の強化を図りました。

○正副会長会

開催日		議 案
第1回	令和2年 5月26日（火）	※理事会の提出議案について <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告の承認について ・令和元年度決算の承認について ・令和2年度第1次補正資金収支予算（案）の承認について ・理事候補の推薦について ・令和2年度定時評議員会の招集について ・評議員候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員会の招集について ・会長および常務理事の職務執行状況の報告について
第2回	令和2年 10月1日（木）	社会福祉功労者表彰表彰者の選定について
第3回	令和2年 12月3日（木） （決議の省略による）	※理事会の提出議案について <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度第2次補正資金収支予算（案）の承認について
第4回	令和3年 2月26日（金）	※理事会の提出議案について <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度第3次補正資金収支予算（案）の承認について ・令和3年度事業計画（案）の承認について ・令和3年度資金収支予算（案）の承認について ・草津市社会福祉協議会定款の一部変更について ・草津市社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について ・草津市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の運営に関する規定の一部改正について ・令和3年度役員報酬の総額について ・令和3年度資金運用計画（案）の承認について ・令和2年度第3回評議員会の招集について ・評議員選任・解任委員会の招集および補欠評議員候補者の推薦について ・役員等賠償責任保険契約の締結について ・事務局長の選任について

○理事会・評議員会・評議員選任解任委員会

(理事会)

開催日		議案
第1回	令和2年 6月4日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告の承認について ・令和元年度決算の承認について ・令和2年度第1次補正資金収支予算(案)の承認について ・理事候補者の推薦について ・令和2年度定時評議員会の招集について ・評議員候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員会の招集について ・会長および常務理事の職務執行状況の報告について
第2回	令和2年 9月1日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員会の招集について
第3回	令和2年 12月11日(金) (決議の省略による)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度第2次補正資金収支予算(案)の承認について
第4回	令和3年 3月9日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度第3次補正資金収支予算(案)の承認について ・令和3年度事業計画(案)の承認について ・令和3年度資金収支予算(案)の承認について ・草津市社会福祉協議会定款の一部変更について ・草津市社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について ・草津市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の運営に関する規定の一部改正について ・令和3年度役員報酬の総額について ・令和3年度資金運用計画(案)の承認について ・令和2年度第3回評議員会の招集について ・評議員選任・解任委員会の招集および補欠評議員候補者の推薦について ・役員等賠償責任保険契約の締結について ・事務局長の選任について

(評議員会)

開催日		議案
第1回	令和2年 6月19日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告の承認について ・令和元年度決算の承認について ・令和2年度第1次補正資金収支予算(案)の承認について ・理事の選任について
第2回	令和2年 12月25日(金) (決議の省略による)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度第2次補正資金収支予算(案)について
第3回	令和3年 3月25日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度第3次補正資金収支予算(案)の承認について ・令和3年度事業計画(案)の承認について ・令和3年度資金収支予算(案)の承認について ・定款の一部変更について ・令和3年度役員報酬の総額について

(評議員選任解任委員会)

開催日		議案
第1回	令和2年 6月12日(金)	・評議員退任届の受理について ・補充評議員の選任について
第2回	令和2年 9月11日(金)	・委員長・副委員長の選出について ・評議員退任届の受理に伴う解任について ・補充評議員の選任について
第3回	令和3年 3月12日(金)	・評議員退任届の受理に伴う解任について ・補充評議員の選任について

○他機関の会議への参画

草津市市政功労者表彰選考委員会、草津市民生委員推薦会、草津市人権擁護審議会、草津市健康づくり推進協議会、草津市ごみ問題を考える草津市民会議、草津市人権擁護推進協議会、草津市同和教育推進協議会、草津市自殺対策推進会議、草津市福祉有償運送運営協議会、草津市地域包括支援センター運営協議会、草津市認知症施策推進会議、草津市障害者施策推進審議会、草津市特定旅館建築規制審議会、草津市あんしんいきいきプラン委員会、草津市青少年育成市民会議、草津市要保護児童地域対策協議会、草津市立障害者福祉センター運営協議会、草津市発達障害者等支援システム推進協議会、日本赤十字社滋賀県支部評議員会、社会福祉法人滋賀県共同募金会監査委員、公益財団法人草津市コミュニティ事業団理事会、草津市総合計画審議会、草津市地域福祉推進市民委員会、草津市平和祈念のつどい実行委員会、草津市都市計画マスタープラン策定委員会、草津市空家等対策推進協議会、社会福祉法人湖南会評議員会、湖南地域社会福祉連絡協議会、県立むれやま荘

○役員研修会1

市社協事業の状況を見ていただくとともに、地域住民や福祉関係者とともに地域福祉活動について研修いただく機会として、第3回草津市福祉教養大学第3講座をオープンキャンパスとして開催しました。

演題：専門職と地域の暮らし

講師：パネリスト

草津ゆうひ法律事務所弁護士 浅井 勇希さん

玉川地域包括支援センター所長 嶋村 謙太さん

草津学区社会福祉協議会会長 中村 陽子さん

コーディネーター

龍谷大学社会学部現代福祉学科教授 筒井 のり子さん

開催日：令和2年10月15日(木)

場所：草津市立市民交流プラザ

参加者：37名

○役員研修会2

湖南地域社会福祉連絡協議会役職員研修会

演題：「地域共生社会の実現」が求められる状況における社協の役割

講師：武庫川女子大学 松端 克文さん

開催日：令和2年11月9日(月)

場所：野洲市社会福祉協議会

参加者：2名

●職員会議、職員研修の開催

毎月、生活支援体制整備推進事業や地域福祉権利擁護事業、ボランティアセンターの運営について職員会議を行いました。また、外部研修として、県社協主催の研修等に参加しました。

●地球温暖化防止推進

3,755 円

ゴーヤカーテンを育て、夏季のエアコンの使用量を削減し、冬季はウォームビズに取り組み、地球温暖化の防止に努めました。

また、ペットボトルキャップやプルトップ、使用済み切手の回収（収集ボランティア）に取り組み、市内全体のエコ活動の啓発・推進に努めました。

●市社協会費

	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
一般会員	31,629 世帯	31,155 世帯	30,395 世帯	27,911 世帯	31,804 世帯
	4,744,450 円	4,673,200 円	4,659,250 円	4,860,100 円	4,770,600 円
賛助会員	573.6 口	585.6 口	610.6 口	620.6 口	656.6 口
	2,868,000 円	2,928,000 円	3,053,000 円	3,103,000 円	3,283,000 円
計	7,612,450 円	7,601,200 円	7,712,250 円	7,963,100 円	8,053,600 円

○草津市社協賛助会員 応援ステッカーの作成・配布

コロナ禍で日々奮闘されている草津市社協賛助会員に元気をお届けすべく、オリジナル応援ステッカーを作成し、学区社協を通して、市内の企業・団体等 480 社へ配布しました。

●「社協くさつ」「ホームページ」有料広告

140,000 円

市社協広報紙「社協くさつ」にて、有料広告を募集し、財源確保に努めました。

○社協くさつ広告掲載企業（基本枠45,000円）

7月 1日号…木川営農組合、(有)三王都市開発、宅配COOK123

9月 15日号…木川営農組合、(有)三王都市開発、宅配COOK123

11月 1日号…木川営農組合、(有)三王都市開発、宅配COOK123

3月 15日号…木川営農組合、(有)三王都市開発、宅配COOK123

○ホームページ広告掲載企業（基本枠20,000円）

令和2年6月から半年…(株)ヤマキ

●善意銀行の活用と運用、寄附金の募集

寄附金の増収および地域住民が気軽に参加・協力できる地域福祉の推進を図るため、企業が提供する名刺に対し一定の割合で企業等が売り上げの一部を当会に寄附する「寄附付き名刺」を発行しました。

社会福祉全般における市民からいただいた善意の寄附金・物品は、善意銀行事業として社会福祉施設、社会福祉団体や援助の必要な人のために役立てました。また、ボランティア基金に寄せられた寄附はボランティアセンター運営にかかる事業実施のために活用しました。

さらに、広報紙・ホームページにて、いただいた寄附金を掲載し、寄附金募集の啓発に努めました。

【寄附金状況】

寄附名	令和2年度		令和元年度		平成30年度		平成29年度	
	件数	寄附金額	件数	寄附金額	件数	寄附金額	件数	寄附金額
市社協が行う各地域福祉事業に対する寄附	57件	1,780,719円	69件	1,564,714円	42件	1,602,310円	43件	1,286,806円
ボランティア基金事業	10件	132,000円	9件	241,793円	12件	215,720円	8件	323,662円
善意銀行	2件	50,000円	12件	399,636円	8件	177,400円	11件	416,616円
施設設備等寄附金	1件	3,344,000円	1件	140,000円	0件	0円	0件	0円
災害復興基金	0件	0円	0件	0円	0件	0円	6件	91,174円
計	70件	5,306,719円	91件	2,346,143円	62件	1,995,430円	68件	2,118,258円

【寄附物品状況】 ※順不同・敬称略

- マスク 5件 (エステティックサロンユリノテ、加集 佐和子、匿名)
- 手作りマスク 3件 (草津市老人クラブ連合会、ノルディックサロン、中村 陽子)
- ガーゼ 1件 (山田 真弓) ○入浴剤 1件 (フードバンク滋賀)
- 雑巾 1件 (JA草津市女性部) ○折り紙 1件 (大阪ガス株式会社)
- リハビリパンツ、大人用紙おむつ、尿取りパッド、子ども用紙おむつ等 20件
- たわし 1件 (匿名) ○靴下 1件 (匿名)

●共同募金(赤い羽根・歳末たすけあい)運動の推進

民間福祉事業の振興を図るために10月1日から12月31日まで、全国的に展開される「赤い羽根共同募金運動」を推進しました。

赤い羽根共同募金	8,668,158円
歳末たすけあい募金	5,538,547円
計	14,206,705円

●赤十字事業の推進(日本赤十字社滋賀県支部草津市地区事務局)

日本赤十字社の活動資金募集や、赤十字活動の普及を図りました。また、赤十字活動を支えるボランティアである草津市赤十字奉仕団の活動を支援し、「社協くさつ」にて団員募集記事を掲載し、団員の増員を呼びかけました。

義援金名	義援金額
令和3年2月福島県沖地震災害義援金	45円
令和2年7月豪雨災害義援金	280,217円
令和元年台風第19号災害義援金	2,382,844円
令和元年台風第15号千葉県災害義援金	56,839円
令和元年8月豪雨災害義援金	61,707円
平成30年7月豪雨災害義援金	2,158,703円
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	1,840,424円

平成28年熊本地震災害義援金	7,512,002円
東日本大震災	56,004,970円
合計	70,297,751円

●学区社協の活動拠点「ふれあいハウス絆」「立ち寄りカフェゆかい家」への支援

志津南学区と草津学区にある学区社協の活動拠点「ふれあいハウス絆」と「立ち寄りカフェゆかい家」が実施する事業、活動に対する相談や物資の支援を行い、活動の活性化を図りました。

また、ボランティアをやってみたい人にゆかい家での活動を紹介し、実際に活動につなげました。

この事業報告書は、第3次地域福祉活動計画（H29～H33）の進捗・評価の観点から、活動計画の推進項目と整合性を持たせた構成としました。

